

ちょっと考えてみませんか？

人権講座①

～これって どうして??～

私たちの身の回りには、当たり前だと思っけていても、よく考えてみると「なぜ?」「どうして?」と思う変なならわし、しきたりがたくさんあります。



ろく よう

「六曜」って…?

カレンダーや日めくり暦をよく見ると、日にちの下に「大安」とか「仏滅」とか書かれているものがあります。これが「六曜」です。よく見ると分かりますが、「先勝」「友引」「先負」「仏滅」「大安」「赤口」がだいたい機械的に繰り返しています。

<歴史>

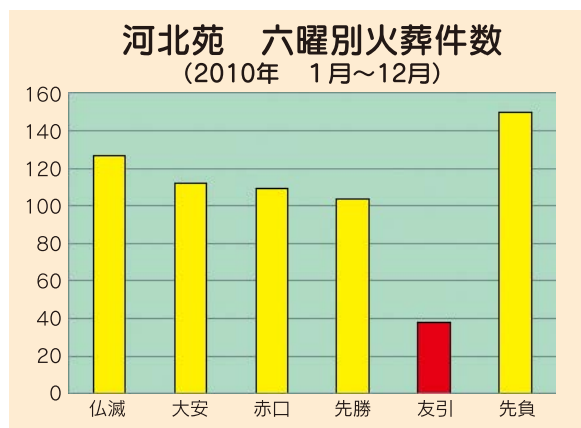
中国で生まれたとされますが、起源は諸説あり明らかではありません。14世紀の鎌倉時代末期～室町時代にかけて日本に伝わったとされています。その名称や解釈、順序も様々に変えられ、19世紀初頭に現在の形になりました。



仏滅や友引という、仏事と関わり合いそうな言葉が使われていますが、**仏教とは一切関係ありません。科学的根拠のない迷信です。**

しかし、迷信とわかっていても「昔からそうだから…」「みんなが言うから…」ということで、結婚式や葬式などの日取りが、この「六曜」をもとにして決められている現実がまだまだあります。

日のよし悪しは、日が元来備えていることではなく、それぞれの個人がどのようにその日を送るかによって結果がでるもので、個人個人によって異なります。



根拠のない、事実に基づかない意味づけは、時として人の心を惑わし、正しく物事を判断する力を削いでしまいます。それによって「差別」が温存・助長されてきたことも事実です。

昔からのならわし、しきたりも「なぜ?」「どうして?」と考えることが大切ではないでしょうか。

